

登録有形文化財（建造物）の登録について

平成30年7月20日（金）に文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の文化財の登録が文部科学大臣に答申される予定です。今後、官報告示を経て、登録文化財原簿に登録されることとなります。

本県関係では、平成30年3月9日答申の旧内山家住宅主屋など7件に続くもので、合計194件となります。

【答申予定の登録有形文化財（建造物）3件】

名 称	員 数	所 在 地	所 有 者	建 築 年 代
へいせいおおのやほんてんひらぐら 平成大野屋本店平蔵	1 棟	大野市元町 1-1	大 野 市	昭和 28 年
むらまつひょうすけじゅうたくしゅおく 村松兵助家住宅主屋	1 棟	おおい町本郷 120 字 古川 4-1	村松ふさえ	明治後期
〃 どぞう 土蔵	1 棟	〃	〃	明治後期、 大正前期増築

平成大野屋本店平蔵について

- ・所在地 大野市元町 1-1
- ・所有者 大野市
- ・年代 昭和 28 年（1953）建築、平成 12 年改修
- ・登録基準 造形の模範となっているもの
- ・特徴 平成大野屋は、元は大野織物工業協同組合の建物で、元事務所の洋館（昭和 12 年）、二階蔵（明治後期）は、平成 10 年に登録文化財になっている。
平蔵は戦後の織物需要を背景に昭和 28 年に建築され、間口 9.1m、奥行き 14.56m の平屋建の大規模な土蔵で、洋小屋により内部に柱のない大空間をつくる。福井地震を契機につくられた建築基準法施行後（昭和 25 年）の建築で、柱を筋交いで固め、補強金物を用いるなどの耐震対策がなされている。
現在は、市の観光拠点施設として活用され、平蔵の大空間は春開催のおおのひな祭りの会場などに利用されている。





位置図



配置



内部



ひなまつりの様子

【参考】平成 10 年登録（洋館・二階蔵）



洋館



二階蔵（左手が平蔵）

むらまつひょうすけけじゅうたく

村松兵助家住宅について

- ・所在地 おおい町本郷 120 字古川 4-1
- ・所有者 村松 ふさえ
- ・年代 明治後期～大正前期
- ・特徴 村松家は丹後街道沿いの本郷の町並みに位置し、街道に面して主屋と土蔵を構える。屋号を「兵助」と称し、元は行商を営んだが、大正 5 年より酒造業を始めた。現在は酒類販売を行う。明治後期には郵便局長も務めた旧家である。
村松家は街道沿いに主屋と土蔵が建ち並び、伝統的な商家の屋敷構えを伝える。
- ・備考 今回、おおい町で初の国登録有形文化財（建造物）である。





位置図

しゅおく

①村松兵助家住宅主屋

- ・年代 明治後期
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 街道に面して広い間口を構える大型町家で、外観は伝統的な構えながら、内部は高い天井や凝った意匠で近代らしい空間が広がる。



②村松兵助家住宅土蔵

- ・年代 明治後期、大正前期増築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 主屋北側、街道に面して建ち、二階建の西蔵とその背面の平屋建の東蔵からなる。東蔵はかつて醸造場として利用された。

